



SPACE ONE

第2回わかやま成長産業開拓ビジョン 検討会資料

2024年1月10日

Space One Co., Ltd.



SPACE ONE

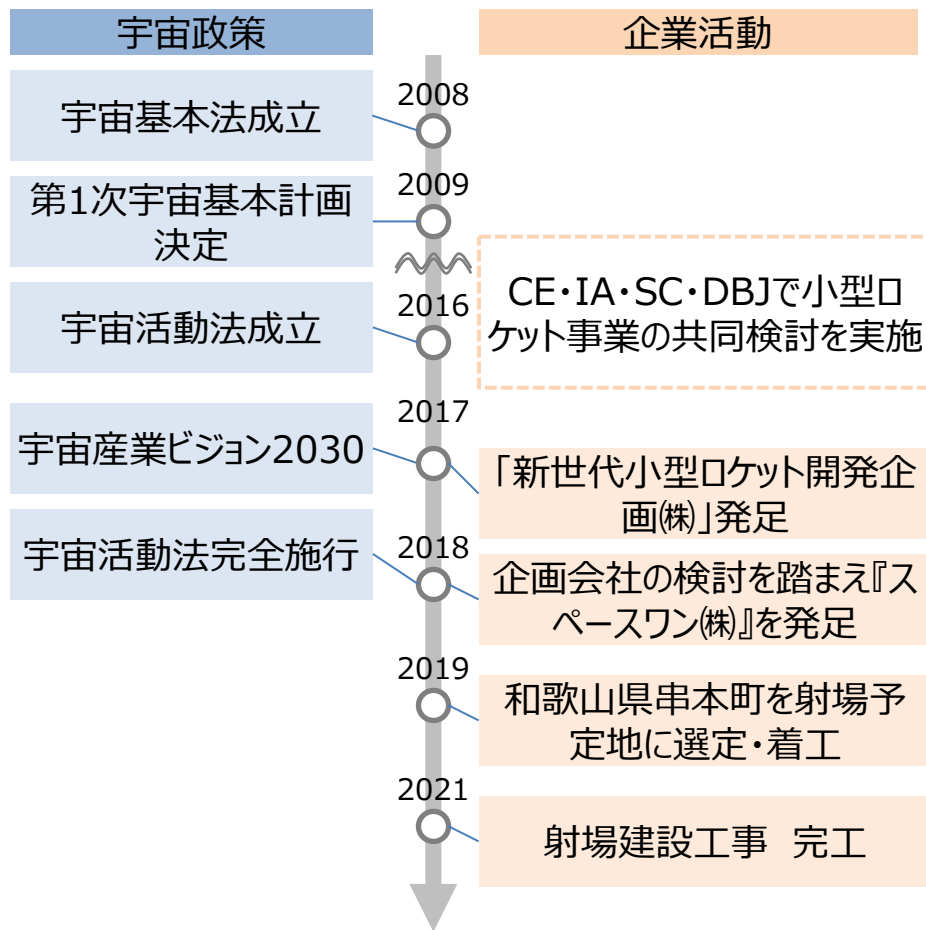
スペースワンの概要

- 2017年にキヤノン電子（CE）、IHIエアロスペース（IA）、清水建設（SC）、日本政策投資銀行（DBJ）により発足した小型ロケット事業検討の企画会社を経て、2018年に事業会社として発足。

当社概要

本社	東京都港区芝公園
設立日	2018年7月
代表者	代表取締役社長 豊田 正和
資本金	71億円（現時点）
株主構成	キヤノン電子 IHIエアロスペース 清水建設 日本政策投資銀行 三菱UFJ銀行 紀陽銀行 関西電力K4Ventures オークワ アズマハウス 太陽グループ
事業内容	(1) 小型衛星用の宇宙輸送システムの開発 (2) これを用いた宇宙輸送サービスの事業化 (3) その他これに付随・関連する事業

沿革





SPACE ONE

スペースワンの事業 ～カイロスロケット

- 自社開発による小型ロケット「カイロス」および自社保有射場「スペースポート紀伊」にて小型衛星の宇宙輸送サービスを国内外に提供する

現行カイロスロケットの概要

機体構成	固体3段式+軌道修正用液体エンジン		
全長	約18m	全備質量	約23t
機体外径	(機体) 約1.4m	(フェアリング)	約1.5m

アビオニクス

高性能・高信頼性の軽量小型アビオニクスを開発

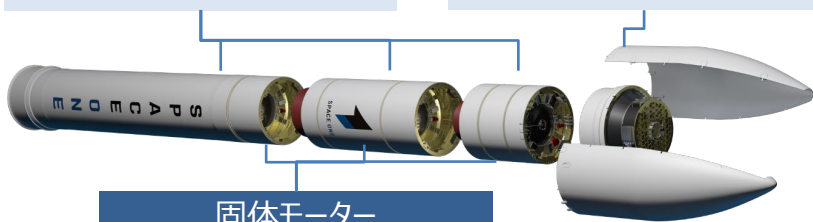
フェアリング

実績のある技術を適用し、高い品質と広い包絡域を実現

固体モーター

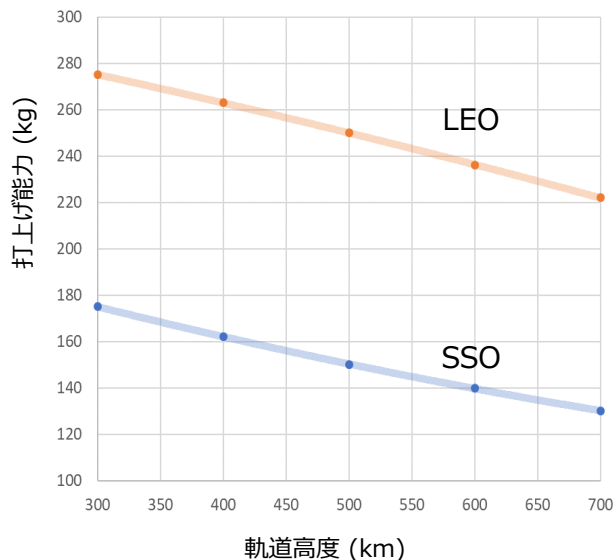
イプシロンロケットの流れをくむ高性能な固体推進技術を適用しながら低コストを実現

実績のある日本の固体ロケット技術に民生電子部品を組み合わせ、高信頼性・低コストを両立



現行カイロスロケットのパフォーマンス

- 打上能力
 - ✓ 太陽同期軌道 (SSO) : 150kg
 - 軌道傾斜角97度/高度500km
 - ✓ 低軌道 (LEO) : 250kg
 - 軌道傾斜角33度/高度500km
- サービスの特長
 - ✓ 打上げ頻度：2020年代後半に年間20回
 - ✓ 即応性：衛星受領から4日で打上げ

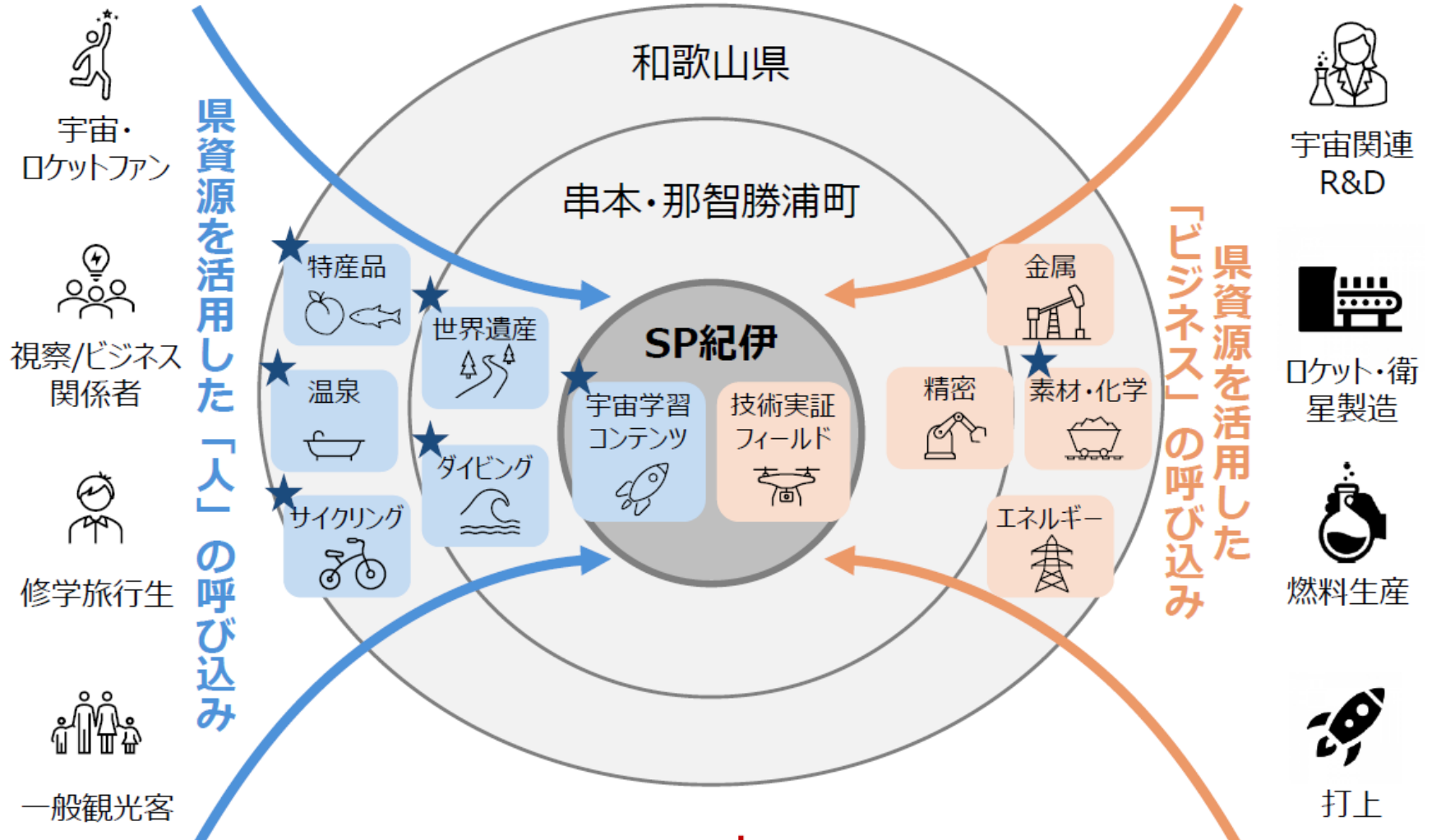


地域経済発展への貢献

SPACE ONE

宇宙テーマでの観光促進

宇宙エコシステム構築拠点としての産業振興





和歌山県へのご要望

1

弊社事業へのご理解とご支援

- ロケットの打上げに当たっては、地上や海上の警戒、見学者の来県による交通量の増大等、地元には様々な影響を与える場面もある中、一企業としてできることは、しっかりと取り組んで参りますが、和歌山県全体でのご理解とご支援は欠かせません。
- 県庁様を中心とした地元からの総合的なご支援を引き続き、宜しくお願い申し上げます。

2

地元との連携強化（教育・地域事業など）

- 和歌山県内の大学や高専・高校との連携を強化し、宇宙産業を支える人材教育に加え、和歌山県発の衛星スタートアップの創出等にも注力頂きたい。
- 弊社の今後の事業発展も見据え、弊社のパートナー企業が、地元への拠点の設置を検討する場面もでてくるのが想定されますが、そういった際に、当該弊社パートナー企業への各種ご支援をよろしくお願い申し上げます。

3

弊社の受注拡大に向けた魅力発信への協力

- 宇宙機関や大企業、宇宙スタートアップのみならず、大学・高校やさまざまなエンティティが衛星をつくり打ち上げることに挑戦している。和歌山県としても宇宙への取り組みをアピールして頂きたい。
- 県の観光産業にも資する、国際連携強化を行い、和歌山県としての魅力発信に加えて、スペースワンの国際的な知名度向上にもご協力頂きたい。

【参考】 ミッションステートメント

SPACE ONE

あなたのビジネスはもはや、宇宙と無関係ではいられない。

リモートセンシング。衛星インターネット通信。スペースデブリ除去。
国家が主体だった宇宙事業に、近年、民間の宇宙ビジネスがつぎつぎ参入。
業界の壁をこえた新たな市場を形成している。

これを可能にしているのが、大型の衛星を少数打上げるのではなく
小型の衛星を大量に打上げるという発想。
打上げに対するニーズは変化し、大型ロケットよりも柔軟なスケジュールを組める
小型ロケットに期待が集まっている。

スペースワンは、契約から打上げまでの「世界最短」と
打上げの「世界最高頻度」をめざす、小型ロケット専用の打上げサービス。
専用のロケットと専用の射場で宇宙へのアクセスコストを下げ、
宇宙ビジネスのさらなる拡大に貢献していく。

Launch Your Space Business.